

# お寺の子ども会 西教寺進徳 だより

西教寺蔵本通支坊 2015.10.11 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

## 9月 お彼岸・お浄土・稲刈り

共命ぐみよの鳥。本堂お内陣(ないじん)正面いちばん大きな机(うへ)前机(まえじょく)に据(よ)つてあります。



浄(じやう)だんだん日が短(みじか)くなつてきました。冬(ふゆ)になると夜(よ)が長(なが)くなり、夏(なつ)になると昼(ひる)が長(なが)くなります。昼(ひる)と夜(よ)の長(なが)さが同じ(おな)じ日を「春分(しゅんぶん)」「秋分(しゅうぶん)」の日(ひ)と「秋分(しゅうぶん)」の日(ひ)といいますが、日本(にっぽん)の仏教徒(ぶつこうど)は、これら(これら)の日(ひ)をお彼岸(おひがん)と呼(よ)んで大切(たいせつ)にしています。



悩(なや)みにまみれたこの世(よ), 迷(まよ)いの世界(よ)界(かい), 穢(えど)土(ど)とい(い)います。

お浄土(じやうど)には共命(ぐみよ)の鳥(とり)が住(す)んでいるとお経(きやう)『阿弥陀經(あみだぎやう)』に書(か)いてあります。頭(かぶ)が二(ふた)つで身体(からだ)が一(ひとつ)つの鳥(とり)です。片(ひと)つ方があ(あ)あ言(い)えば残(のこ)りがこ(こ)う言(い)う、何(なに)をするにも思(おも)ひ通(と)りになりま(な)せん。ある時(とき)片

方(かた)が、こ(こ)いつさ(さ)えいなければ何(なん)でも思(おも)ひ通(と)りにでき(でき)ると思(おも)い、邪魔(じま)な残(のこ)りの方(かた)に毒(どく)を飲(の)ませま(ま)した。賢(けん)いならみなさんならもうお分(わ)かりでし(し)ょう、身(み)体(たい)は一(いつ)つなのです(す)から、そのうち毒(どく)がまわ(ま)って、毒(どく)を飲(の)ませた方(かた)もいっし(し)よに死(し)んでしま(な)いました。共命(ぐみよ)の鳥(とり)はお浄土(じやうど)で、私(わたし)たちの生命(いのち)はつな(つな)が(が)つてい(い)るんだ(んだ)よ、と(と)もに生(な)きてゆ(ゆ)きなさい(さい)と説(と)いてく(く)れてい(い)るそ(そ)うです。

敵(てき)と共に

平和(へいわ)とは なんだらう(う)か敵(てき)(かたき)と共に生(な)きら(ら)れるそんな世界(よ)界(かい)ではな(な)いの(の)か

(浅田正作)



くり



九月二十六日(にじゅうろくにち)と二十七日(にじゅうしちにち)、お寺(おてら)の子ども会(こどもかい)自由参加(じゆうさんか)行事(こうじ)で、黒瀬(くろせ)みのり農園(のりのうゑん)で行(おこな)われた稲刈(いねかり)りに参加(さんか)写真は、頑張(がんば)る七海(ななみ)ちゃんとな(な)つ



### 次回

お寺(おてら)の子ども会(こどもかい)は、

11月8日(にじゅういち) (日)

14時(じゅうご)〜16時(じゅうご)です。

久々(くく)にお念珠(ねんじゆ)づくりをします。世界(よ)界(かい)でた(た)ったひとつ、私(わたし)だけのお念珠(ねんじゆ)をつくりま(な)しょう。

参加費(さんかひ) 500えん



その次(つぎ)は

12月25日(にじゅうご) (金)

10時(じゅうご)20分(ふん)〜15時(じゅうご)

「報恩講(ほうおんこう)ほとけの子(こ)の集(あ)い」です。ど(ど)うぞご予定(よてい)下さい。